令和7年岳南排水路管理組合議会定例会（2月）会議録

令和7年2月3日（月）

1 出席議員（7名）

4番 吉川隆之 議員
5番 鈴木幸司 議員
6番 荻田丈仁 議員
7番 長谷川祐司 議員
8番 萩野基行 議員
9番 齋藤和文 議員
10番 小池義治 議員

2 欠席議員（3名）

1番 須藤秀忠 議員
2番 芦澤秀典 議員
3番 稲葉寿利 議員

3 説明のため出席した者（8名）

管 理 者 小長井 義正 君
副 管 理 者 山田 教文 君
富士市上下水道部長 勝又 猛 君
富士市産業交流部長 簗木 真一 君
富士宮市水道部長 日原文 洋 君
局 長 前嶋 裕 君
参事兼施設課長 天野 則男 君
総務課長 根上 忠記 君

4 出席した事務局職員（4名）

参事補兼管理係長 小泉 大輔 君
庶務係長 渡邊 友貴 君
庶務係主査 佐野 浩平 君
庶務係上席主事 井出 昌志 君

5 議 事 日 程

日程第1	会議録署名議員の指名
日程第2	会期の決定
日程第3	議第1号 令和6年度岳南排水路管理組合会計補正予算について(第2号)
日程第4	議第2号 令和7年度岳南排水路管理組合会計予算について
日程第5	議第3号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について

午前10時 開 会

○総務課長（根上忠記君） ここで、欠席議員の報告をさせていただきます。須藤秀忠議員、芦澤秀典議員、稲葉寿利議員から、都合により本定例会を欠席する旨の届出がございましたので御報告いたします。

○議長（荻田丈仁議員） では、改めましておはようございます。今年初めての定例会ということで、引き続きよろしく願いいたします。

それでは、出席議員が法定数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

ただいまから岳南排水路管理組合議会定例会を開会いたします。

本日の会議は、お手元に配付いたしてあります議事日程により進めます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（荻田丈仁議員） 日程第1 会議録署名議員の指名であります。会議規則第35条の規定により議長において指名いたします。

会議録署名議員に

8番 萩野基行 議員

9番 齋藤和文 議員

以上2名を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（荻田丈仁議員） 日程第2 会期の決定についてを議題といたします。

本定例会の会期は本日1日といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって本定例会の会期は本日1日と決定いたしました。

それでは、ここで本定例会に上程される提出議案の大綱説明を管理者に求めます。

○管理者（小長井義正君） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 管理者。

○管理者（小長井義正君） おはようございます。お許しを得ましたので、本定例会に上程いたします各議案の審議をお願いするに当たり、議員各位の御理解と御協力を賜りますよう、議案の総括的な説明を申し上げます。

さて、岳南排水路使用者の多くを占める紙・パルプ産業であります。エネルギー価格の高騰、物流問題や人材不足といった厳しい環境下にあり、生産体制の再構築や合理化などを進めながら、対策を続けている状況であります。こうした中、環境配慮型の製品にお

きましては、近年の資源循環の機運の高まりなどから社会的価値が上昇しており、紙素材の新たな需要開拓や、CNFをはじめとする新素材の実装化に向けた取組に対し、追い風となっております。このような動きが地域産業の継続的な発展につながることを期待しつつ、皆様の御支援を賜りながら、公共用水域の水質保全のため、引き続き、施設の維持管理に最善を尽くしてまいりたいと存じます。

それでは、本定例会に提案申し上げ、御審議を賜ります議案につきまして、私からその要旨を申し上げます。

なお、詳細につきましては、後刻、事務局から説明させますので、あらかじめ御承知いただきたいと存じます。

初めに、議第1号令和6年度岳南排水路管理組合会計補正予算（第2号）についてであります。2,427万8,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ5億6,392万8,000円とするものであります。歳入では財産収入を増額し、歳出におきましては諸支出金等を増額するものであります。

次に、議第2号令和7年度岳南排水路管理組合会計予算についてであります。歳入歳出の予算総額を5億6,400万円とするものであります。歳入におきましては、主財源であります使用料及び手数料を4億974万1,000円と見込んでおります。また、歳出であります。総務費を5億675万3,000円計上しております。

次に、議第3号刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定についてであります。本案は、刑法等の改正に伴い、関係する条例について所要の改正を行うものであります。

以上、上程議案につきまして要旨のみ説明申し上げましたが、御審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。概要説明とさせていただきます。

以上であります。

○議長（荻田丈仁議員） 以上で管理者の説明を終わります。

日程第3 議第1号令和6年度岳南排水路管理組合会計補正予算について（第2号）

○議長（荻田丈仁議員） 日程第3 議第1号令和6年度岳南排水路管理組合会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） それでは、議第1号令和6年度岳南排水路管理組合会計補正予算（第2号）について御説明いたします。

議案書の2ページをお願いします。第1条、歳入歳出予算の補正は、予算の総額に歳入歳出それぞれ2,427万8,000円を追加し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ5億6,392万8,000円とするものであります。

第2条、債務負担行為につきましては後ほど御説明いたします。

それでは、補正予算について事項別明細書にて御説明いたしますので、7ページ、8ページをお願いします。

2、歳入であります。2款1項1目利子及び配当金は、補正前の額4,625万7,000円に2,427万8,000円を追加し、補正後の額を7,053万5,000円とするものです。これは、債券4本、額面5億円の売却差益と、新たに購入した債券5本、額面5億円の利払い金など運用益の増によるものです。

9ページ、10ページをお願いします。3、歳出であります。2款1項1目一般管理費は、補正前の額1億3,615万円に470万1,000円を追加し、補正後の額を1億4,085万1,000円とするものです。これは、給与費において、給与改定に伴う増、職員構成の変動に伴う増によるものです。

2款3項1目施設改良費は、補正前の額2億5,292万8,000円から450万円を減額し、補正後の額を2億4,842万8,000円とするものです。これは入札差金が生じたことによるものです。

11、12ページをお願いします。4款1項1目岳南排水路基金積立金は、補正前の額4,569万2,000円に2,427万8,000円を追加し、補正後の額を6,997万円とするものです。これは、基金積立ての原資であります運用益の増によるものです。

5款1項1目予備費は、補正前の額277万7,000円から20万1,000円を減額し、補正後の額を257万6,000円とするものです。これは、予算執行額の調整によるものです。

次に、債務負担行為について御説明いたしますので、4ページをお願いします。

第2表債務負担行為は、庁舎屋上防水事業であります。期間は令和7年度まで、限度額は325万6,000円であります。経年劣化により防水機能が低下しているため、雨漏りの発生を防ぐことを目的とし、早期に契約を結ぶことで、梅雨に入る前に作業を完了することを目指しております。

以上で議第1号令和6年度岳南排水路管理組合会計補正予算（第2号）の説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○議長（荻田丈仁議員） 当局の説明を終わります。

これから議第1号について質疑に入ります。——質疑もないようでありますので、質疑を終わります。

これから討論に入ります。——討論なしと認め、討論を省略いたします。

これから採決に入ります。

議第1号令和6年度岳南排水路管理組合会計補正予算（第2号）については原案どおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって議第1号は原案どおり可決されました。

日程第4 議第2号令和7年度岳南排水路管理組合会計予算について

て

○議長（荻田丈仁議員） 日程第4 議第2号令和7年度岳南排水路管理組合会計予算についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） それでは、議第2号令和7年度岳南排水路管理組合会計予算について御説明いたします。

議案書の18ページをお願いいたします。第1条、歳入歳出予算は、予算の総額を歳入歳出それぞれ5億6,400万円とするものであります。

第2条、一時借入金は、地方自治法第235条の3第2項の規定により最高額を1億円と定めるものであります。

それでは、予算について事項別明細書にて御説明いたしますので、23、24ページ、併せまして表紙が薄青色の議案参考資料—1の1ページをお願いします。

2、歳入、1款1項1目使用料は、4億974万1,000円を見込み、前年度と比較して10万円の増となります。

議案参考資料の2ページをお願いします。使用料算定基礎排水量ですけれども、表の下から2段目、令和6年度の総排水量は、11月までの実績排水量を基に2億1,110万立方メートルと予測しております。これはインバウンド需要などによる増加傾向が見られ、前年度よりもプラスの予測となっております。

その下、令和7年度の総排水量は、令和6年度の予測排水量から過去10年間の実績の

平均の減少率2.1%に当たる450万立方メートルの減を見込み、2億660万立方メートルとします。これは引き続きインバウンド需要が見込まれるものの、デジタル化の加速や人口減少といった構造的要因に加えて、物価高による需要減も予測されるため、減少率2.1%と想定しております。

議案書の23、24ページにお戻りください。2款1項1目利子及び配当金4,880万7,000円は、岳南排水路基金及び職員退職手当基金の運用益金で、本年度に買換えを実施して利率アップが図られたため、255万円の増額を見込んでいます。

基金につきましては、議案参考資料の3ページ、基金執行状況で御説明いたします。

1の岳南排水路基金は、令和7年度の前年度末現在高33億2,201万1,139円に、運用益金4,812万9,000円と、一般会計へ充当する取崩額6,900万円を見込み、年度末現在高を33億114万139円としています。

2の職員退職手当基金は、令和7年度の前年度末現在高6,411万7,234円に、運用益金67万8,000円と、積立金500万円を見込み、年度末現在高を6,979万5,234円としています。

議案書の23、24ページにお戻りください。3款1項1目岳南排水路基金繰入金ですが、管渠更生工事など施設改良費に充当するため、岳南排水路基金から6,900万円を取り崩すもので、前年度より1,800万円の増額となります。

25、26ページをお願いいたします。4款1項1目前年度繰越金は、前年度と同額の3,000万円を計上しています。

5款2項1目雑入は、富士市に土木技術職員を派遣するために計上するもので、前年度より635万円の増額となります。

27、28ページをお願いします。3、歳出になります。

1款1項1目議会費は、組合議会定例会2回の開催経費としまして29万円を計上しています。内訳は、管理組合議会議員10人の報酬費20万6,000円などであります。

2款1項1目一般管理費は、1億5,792万8,000円を計上し、前年度と比較して2,465万1,000円の増となります。増額の主な理由は、職員数の増、給与改定による増及び庁舎屋上防水工事の増によるものです。

説明欄をお願いします。1、給与費のうち、4、一般職15人の人件費を1億1,856万9,000円、5、パートタイム会計年度任用職員2人の人件費を769万3,000円計上しています。なお、人件費に関する資料としましては、39ページから42ページに給与費明細書をお示ししておりますので、後ほど御確認をお願いします。

次に、2、人事管理費の2、職員研修費113万7,000円は、研修会への参加旅費及び負担金になります。

次のページをお願いします。3、事務管理費の677万9,000円は、組合事務運営に必要な経費としまして、「広報がくはい」などの印刷製本費や、富士市財務会計と接続するシンクライアントの利用に関する負担金などになります。

4、財産管理費1,423万6,000円は、庁舎屋上防水工事などの庁舎管理費、公用車5台、うちリース1台の車両管理費のほか、用地や使用料の管理に要する経費であります。

5、公租公課費849万8,000円は会計年度内に納付する消費税で、令和6年度分の中間と確定納付、令和7年度分の2回の中間納付の計上になります。

33、34ページをお願いします。2款2項1目排水管理費202万円は、管路施設の管内環境保全のための水質管理に係る経費で、前年度と比較して8万円の増となります。

説明欄1の1、水質調査費64万円は水質試験に係る薬品や試験器具の購入費で、2、硫化水素調査費138万円は拡散式硫化水素計センサーの購入費などであります。

2目下水道管理費5,331万6,000円は、管路や人孔の劣化・破損箇所の維持補修及び保守点検に係る経費で、前年度と比較して314万5,000円の増となります。

説明欄1の1、維持補修費2,360万円は、管路補修や人孔の鉄蓋取替えなどに係る経費、2、保守点検費2,831万円は、7月下旬の工場排水流入禁止期間に実施するテレビカメラや目視による管内点検調査延長8,400メートルや、22門のゲート点検整備に要する経費などであります。

3目ポンプ場管理費4,189万7,000円は、今泉ポンプ場の運転や維持管理に係る経費で、前年度と比較して218万4,000円の減となります。

説明欄1の1、維持補修費80万円は、ポンプ場施設の緊急を要する維持修繕の経費で、2、保守点検費3,492万円は、ポンプ場施設の運転管理と電気工作物の保守点検業務などに係る経費になります。

3、ポンプ場管理事務費617万7,000円は、ポンプを運転するための電気料金、工業用水使用料などであります。

35、36ページをお願いします。2款3項1目施設改良費2億5,159万2,000円は、管渠の更生工事やポンプ場施設の保全対策事業の経費で、前年度と比較して133万6,000円の減となります。

説明欄1、管渠施設費の1、保全対策事業費は2億3,400万円を計上しています。

事業内容につきまして、議案参考資料の4ページをお願いします。管渠施設費における

保全対策事業は6件の執行を予定しています。敷設してから58年から65年が経過している管渠を更生工事により長寿命化や耐震化を図るもので、合計で271メートルを施工します。

なお、表の右端にあるページ番号にそれぞれの位置図をお示ししておりますので、また後ほど御確認をお願いします。

議案書の36ページにお戻りください。説明欄2、ポンプ場施設費の1、保全対策事業費1,670万円は、ストックマネジメント計画の更新業務に要する経費と、沈砂池入り口の水位計の更新に要する経費であります。

37、38ページをお願いします。3款1項1目利子15万円は、岳南排水路基金から一般会計へ繰替運用による借入れのための利子で、利率の上昇により前年度と比較して10万円の増であります。

4款1項1目岳南排水路基金積立金は、運用益金4,812万9,000円を積み立てるもので、前年度と比較して243万7,000円の増となります。

2目職員退職手当基金積立金567万8,000円は、積立金500万円と運用益金67万8,000円で、前年度と比較して11万3,000円の増となります。

5款1項1目予備費は、前年度と同額の300万円を計上しました。

以上で議第2号令和7年度岳南排水路管理組合会計予算の説明を終わります。よろしくお願いたします。

○議長（荻田丈仁議員） 当局の説明を終わります。

これから議第2号について質疑に入ります。

○5番（鈴木幸司議員） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 5番 鈴木幸司議員。

○5番（鈴木幸司議員） 説明いただきましたので、2点ほど教えてください。議案書の33ページのポンプ場管理費なのですが、前年度比200万円から減額の予算、5%ほど減っている。これの一番大きな理由は何なのかお示してください。

もう一つが35、36ページのほうの、今度は同じくポンプ場施設費のストックマネジメント計画更新業務委託、こちらは保全対策で必要だということですが、これの内容について説明をお願いします。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） ポンプ場管理費の減額の理由ですけれども、今泉ポンプ場の運転管理業務委託というのがございまして、こちらは2年契約で、ポンプ場の運転管理という

ことで業者に委託しております。そちらの委託費が入札差金で若干安くなったということが一番の原因で、ポンプ場管理費が安くなっているというようなものでございます。

それから、ポンプ場のストックマネジメント計画の内容ということですが、こちら、ポンプ場の概要を先にちょっと説明させていただきますけれども、こちらは昭和43年に完成しております、低い地域に工場がございますので、そちらの排水が潮位の関係で流れにくくなるということで、一度ここでポンプアップしてから先のほうへ流すようにしています。昭和43年から使っているものですから、ポンプも、4台ございますけれども、そのまま使っているということがございまして、ストックマネジメント、一般的に長寿命化ですとか事業の平準化ということでやっているんですが、全体的にはそうなんですけれども、やはり長期的な視点で、全体の今の老朽化の進捗をまず把握しまして、それからリスクの評価、それぞれどのようなリスクがあるかということで優先順位をつけます。その上で維持管理が最適化するようにということで、点検調査の計画ですとか、修繕ですとか改築の計画を立てることが目的でございます。

実際には令和元年度に当初計画を策定しているんですけれども、おおむね5年で見直しますので、ちょっと過ぎてもう6年目なんですけれども、ストックマネジメント計画を見直して、先ほども言いましたけれども、点検調査計画の策定、頻度ですとか優先順位、費用、それから修繕・改築計画の策定、方法ですとか同じく時期、優先順位とか費用などを計画的にまとめるというような業務でございます。

以上です。

○5番（鈴木幸司議員） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 5番 鈴木幸司議員。

○5番（鈴木幸司議員） まず、ストックマネジメント計画、これは計画をどこかコンサルに委託するんだと思うんです。長寿命化ということで、4年目でちょっと見直ししようということ、5年目に新たに出てくるということだと思うんですが、こちらはポンプ場のストックマネジメント計画なのか、管更生全体の老朽化についてのほうも入っているのかというのを1点お伺いします。

もう1点が、ポンプ場管理費は入札差金が発生した。運転管理ってほとんどが技術的なものよりも人件費だと思うんですけれども、人件費が上がっている昨今、これだけ安くやっていただけたというのは何者入札でどこが、競争入札の結果、こうなったんでしょうけれども、入札に応札された業者の数だけ教えてください。その2点をお願いします。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） まず、1点目のポンプ場のストックマネジメント計画ですけれども、議員おっしゃるとおり、ストックマネジメント計画全体でいいますと、管渠とポンプ場ということで2つです。管渠の中にはマンホールですとかゲートですとかも含まれているんですけれども、全体で管渠、それからポンプ場ということで2つございます。

管渠のほうは、毎年7月下旬の点検を行っているものですから、その結果を反映させて、毎年、数値を変えて、管渠ストックマネジメント計画というのは更新しているんですけれども、ポンプ場のほうは、やはり設備の関係なものですから業者のほうに委託を出して、おおむね5年ごとで見直しているというようなところですよ。

もう一つ、運転管理の業務委託の業者の数ですけれども、2者ありまして競争性があったということで——すみません、1者です。申し訳ない、訂正です。1者なんですけれども、しばらくここ何年か管理をしているところを取っているんですけれども、全体的には確かに人件費も上がっているんでしょうけれども、運転管理の方法も若干見直して、安くできないかとかと工夫しながらやっているものですから、それで若干安くなったかなというところがございます。

以上です。

○5番（鈴木幸司議員） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 5番 鈴木幸司議員。

○5番（鈴木幸司議員） 運転管理については、ぜひそういう努力を続けていただくようお願いいたします。

また、管更生のほうは、そういえば7月、毎年、潜って目視なり、カメラを入れるなりして、毎年どこを直していこうと決めていただいているようですので、昨今、都市下水にはいろんな問題がありますから、ぜひとも健全な経営のほうをお願いします。

以上です。

○10番（小池義治議員） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 10番 小池義治議員。

○10番（小池義治議員） この中で、基金の運用がいろいろ出ているので、議案参考資料のほうで基金執行状況です。参考資料-1の3ページ目でちょっと質問したいと思うんですけれども、2週間ほど前に、日本銀行が政策金利を0.5%上げまして、それに追随して銀行も普通預金の金利を上げましたけれども、一般的にいまして、普通預金の金利が上がると債券の価値は下がるという関係にあると思います。つまり、この1億円の基金を、償還日まで持っていれば何も問題ないんですけれども、途中で満期を待たずに現金化しようと思ったときに、震災などがあって現金が必要になったときに、1億円では全然売

れなくなってくるというのが、この預金金利が上がっている状況にあるときに起こることだと思えます。つまり、31億円も債券を持っていると、現在価格ですね、これを現金化しようと思ったときに、含み損がかなり生じてしまうんじゃないかなと思うんですが、この債券の現在価格のような、今、現金化したときに幾らになるかというような試算はされていますでしょうか。

そして、今後、普通預金が上がっていく状況の中で、この33億2,000万円の基金のうち31億8,000万円も債券を買っている状況が、これは健全なのかなというような気もしますが、この点はいかがでしょうか。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） 2つ御質問いただきました。まず評価額、含み損とか一般的に言われることをおっしゃっていると思うんですけれども、ちなみに利率のほうは、政策金利とか利息が上がると、今現在出回る債券自体は利率が上がるんですけれども、確かに価値という意味でいきますと、今新しく出たものが利率が高いものですから、前に持っていたものは、価値というんですか、人気がなくなって下がる、そういった仕組みになっています。含み損は幾らかということなんです、今現在、33億円に対し2億円マイナスが出ている。要は31億円の価値というんですか、評価額というような合計になります。

もう一つ、適正な管理をしているかどうかということでもいいですか。先ほど補正予算でも説明したんですけれども、債券が今年度、ちなみに5億円分、買換えをしているんです。全部で4本あったんですが、その内容をちょっと説明したほうがわかりやすいのかなと思います。債券は、今年度買い換えたものは、もともと以前あったものを売っているんですけれども、売ったものの利率が平均で1.6%ぐらい。幅はあるんですが1.6%だったんです。逆に今、利率が上がっているものですから、新しいもののほうが率がいいので、それを買い換えて2.1%ということで、0.5%利息が上がったので、それに掛ける5億円分の利息が今年上がったということで、来年度にも反映されているというような内容がございます。

債券というのは、議員のほうからもあったんですが、例えば20年償還期間ですと、20年持っていれば元の金額、1億円に戻ってしまうんですが、その間で、今は下がっているんですけれども、例えば景気が悪くなると逆に債券の価値が上がるものですから、上がる時もございます。持っている債券の中、これは30本あるんですけれども、時期によって上がったり下がったりするものですから、買った金額よりも高い時期に、なおかつ利息が高くなるようにということで、両方ともあまり損はしないようにということで工夫

してやっています。

今は含み損ということで、価値、評価額は下がっているんですけども、実際、二、三年前はやはり何億円かプラスになったりということで、最終的に最後まで持ち続けるというような想定では、利息を上げるようにということでやっているんですけども、含み損については、今現在、例えば災害が起きて使うということであると確かにマイナスはあるんですが、全て使うわけでもないですし、一時的に債券を基にお金を借りるというような方法もあるものですから、その辺は工夫しながらやっていきたいということで考えています。

以上です。

○10番（小池義治議員） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 10番 小池義治議員。

○10番（小池義治議員） 御丁寧に説明いただきましたので、分かりました。今現在は2億円の含み損が出てしまっているということでした。今後、多分インフレ基調になっていくのかなという感じもしますが、ここ二、三十年ではなかった状況が生じていると思いますので、金融機関と相談しながら、またこの債券運用、基金の運用を心がけていっていただきたいと思います。

以上です。

○8番（萩野基行議員） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 8番 萩野基行議員。

○8番（萩野基行議員） それでは、25、26ページの諸収入の雑入のところの説明で富士市派遣職員負担金というところなんですけれども、説明のところ土木技術職員を派遣される予定ということでお伺いしたんですが、この辺、どういった理由で派遣されるのかお伺いします。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） 雑入の負担金の関係635万円でございますけれども、こちら、人件費のところでも若干説明したんですが、来年度、土木の職員を2名増員しようということで今予定しています。まずそれがありまして、あとは、これまで人事交流をしていました。現在も土木の職員をこちらから1人市へ、市から1人組合へということで交換というか、行ってこいだったんですが、人材育成の予定で、今回、来年度、こちらと人事交流をお願いしたんですが、市のほうが、今、土木の職員が減っているものですから、交流ではなくて、組合のほうから市のほうへ派遣という形で、市のほうがプラス1で、こっちは

マイナス1というような形で、そのような提案がございまして、人材育成のためにこちらのほうは出すというようなことで、そういった目的もございましたので、それで対価でお金をもらえるということで、一方的な研修派遣じゃなくて本当の派遣という形になったものですから、来年度初めてこのような形で進めることになりました。

以上です。

○8番（萩野基行議員） 議長。

○議長（萩田丈仁議員） 8番 萩野基行議員。

○8番（萩野基行議員） 今、局長からお話がありましたとおり、職員を増したにもかかわらず派遣をするなんて、何かおかしいなということがあったので確認させてもらったんですけれども、あくまでも研修という形で、1年間ですか。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（萩田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） 2年間ということで予定しています。同じく土木の技術職員が行けるような担当課というので考えています。

以上です。

○8番（萩野基行議員） 議長。

○議長（萩田丈仁議員） 8番 萩野基行議員。

○8番（萩野基行議員） では、いずれにしても2年間、研修という形で行かれるということで、その辺はしっかり行く方には勉強していただいて、昨今、先ほど鈴木議員からお話しもありましたとおり、全国的に様々な下水管の問題がありますので、その辺はしっかり研修内容を反映していただいて、何事もトラブルがないような形にさせていただくように、よろしく願いいたします。

以上です。

○9番（齋藤和文議員） 議長。

○議長（萩田丈仁議員） 9番 齋藤和文議員。

○9番（齋藤和文議員） 先ほど、来年度から土木職員が2人増員ということでお聞きしました。久しぶりの採用というか、そのような形だというふうに記憶しておりますが、どのような土木職員で、新卒なのか中途採用なのか、その辺も含めてお教え願えたらと思います。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（萩田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） なかなか言えるところと言えないところがあるんですけれども、

予定しているのは、今、既卒ということで、会社員として働いている職員でございます。

○9番（齋藤和文議員） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 9番 齋藤和文議員。

○9番（齋藤和文議員） 2人……。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） 2人です。

○議長（荻田丈仁議員） よろしいですか。

○9番（齋藤和文議員） はい。

○議長（荻田丈仁議員） ほかに質疑は。

すみません、では私のほうから1点。ちょっとこれは予算というよりも、事業運営の形の中で、昨年、議会でもお話が出ていましたけれども、災害時における岳排の施設利用というふうなことが、取り組んでいくというような話があったと思います。緊急時の水害時において岳排施設に水を入れるよと、そのような議論があったと思いますけれども、その点についての今の見解というか、本年度の取組というか、その辺の状況というものを御説明お願いしたいと思います。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） 水害時、雨水の取り込みの関係の御確認です。9月議会で議会の中でも取り上げられて、該当河川というか、建設部局から説明していると思うんですが、その後の経過というふうなことでよろしいですか。

○議長（荻田丈仁議員） はい。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） 関係者が、県の環境部局、それから、もちろん市もそうなんですけれども、あとは建設部局と、私たちもそうなんですけれども、それと企業側は環境保全協会ということで商工会議所が事務所になっているんですけれども、そちらがございまず直近ですと、市のほうから環境保全協会のほうへモニタリングの提案ということで、まず提案書を作りまして、説明に行っています。やはり環境保全協会のほうからは、これまでのSSの2万トンの協定もございまして、その協定の関係性ですとか、取り込んだときのこれまでの水質の測定の結果とか、その辺の整合ですとかが問われています。保全協会のほうに説明をして、その後、企業の集まる定例会のようなものがあるものですか

ら、水質部会とって水質の関係だけ相談とか情報共有しているところがあるので、そちらに行って説明をして、まずは会社のほうの意見はどのようなものがあるかと取りまとめている最中でございます。保全協会のほうはそういった動きです。

あとは、県の環境部のほうとは、モニタリングの関係で説明をしまして、やはりSSの協定のルールもありますので、その辺をうまく整理して、説明がつくようだったら取り込みも問題ないんじゃないかというような話は伺っているんですけども、いずれにしても今、協議の最中として、さっき言った4者ですか、企業、県、市、組合の4者が協議しながら情報共有して、もちろん岳南排水路に影響があっては困るものですから、ないようにということで、私たちのほうでは、協力はするんですけども影響のないことも確認しながらというようなことで行うと思います。

以上です。

○議長（荻田丈仁議員） 4者の協議で進めていると。当然利用者を含めての話合いが進められていると思いますので、引き続きそちらのほうを取り組んでいただくことを改めてお願いしたいなと思います。

ほかに質疑ありませんか。——質疑も出尽くしたようでありますので、質疑を終わります。

これから討論に入ります。——討論を終わります。

これから採決に入ります。

議第2号令和7年度岳南排水路管理組合会計予算については原案どおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって議第2号は原案どおり可決されました。

日程第5 議第3号刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係
条例の整理に関する条例制定について

○議長（荻田丈仁議員） 日程第5 議第3号刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

○局長（前嶋 裕君） 議長。

○議長（荻田丈仁議員） 局長。

○局長（前嶋 裕君） それでは、議第3号刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について御説明いたします。

議案書の43ページをお願いします。本案は、刑法等の一部を改正する法律が令和7年6月1日に施行されることにより、刑罰の懲役及び禁錮が廃止され、拘禁刑が創設されることに伴い、懲役及び禁錮を使用する2つの条例について改正を行うものであります。

改正の主な内容につきまして、黄色の表紙、議案参考資料-2、新旧対照表にて御説明いたしますので、1ページをお願いいたします。

第1条は、岳南排水路管理組合職員の分限に関する条例第7条第1項におきまして、「禁こ」を「拘禁刑」に改めるものであります。

第2条は、岳南排水路管理組合行政不服審査会条例第10条におきまして、「懲役」を「拘禁刑」に改めるものであります。

議案書の44ページをお願いします。附則の第1条であります。この条例の施行期日を刑法等の一部を改正する法律の施行日と同日の令和7年6月1日とするものであります。

附則の第2条及び第3条であります。本条例の施行日前の行為の処罰につきましては、改正前の条例を適用するため、「なお従前の例による」との経過措置、その他必要な経過措置を設けるものであります。

以上で議第3号の説明を終わります。よろしくをお願いいたします。

○議長（荻田丈仁議員） 当局の説明を終わります。

これから議第3号について質疑に入ります。——質疑もないようですので、質疑を終わります。

これから討論に入ります。——討論なしと認め、討論を省略いたします。

これから採決に入ります。

議第3号刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定については、原案どおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって議第3号は原案どおり可決いたしました。

以上をもちまして、本定例会に付議されました事件は全て終了いたしました。よって本日の会議を閉じ、岳南排水路管理組合議会定例会を閉会いたします。

午前10時50分 閉 会

地方自治法第123条第2項の規定に基づき署名する。

令和7年3月11日

議 長 萩 田 丈 仁

会議録署名議員 萩 野 基 行

会議録署名議員 齋 藤 和 文